

糸島市におけるマルチモーダル実証実験

糸島半島の地域活性化のため、公共交通の利便性向上や福岡市～糸島市でのシームレスな移動の実現、有益なスポット情報の提供等を行う。乗合型オンデマンド交通やカーシェアリングを始めとしたサービスを通じ、住民・観光客の移動の活性化を行う。

協議会の構成員	【幹事】昭和グループ、あいおいニッセイ同和損害保険、akippa、NTTドコモ、オリエンタルコンサルタンツ、近畿日本ツーリスト九州、佐賀銀行、JTB、損害保険ジャパン、大日本印刷、デンソーソリューション、電通、東京海上日動火災保険、トヨタ・コニック・プロ、トヨタ自動車九州、トヨタファイナンス、西日本シティ銀行、日本旅行、博報堂、パナソニックシステムソリューションズジャパン、福岡銀行、三井住友海上火災保険、リサーチアンドソリューション、イオン九州、岩田屋三越、大賀薬局、嘉穂無線ホールディングス、へいせい、福岡県、糸島市、福岡市、九州大学、OPACK(九州大学学術研究都市推進機構)、アイシン精機、糸島漁業協同組合、糸島医師会、糸島市観光協会、糸島市商工会、糸島農業協同組合、トヨタ自動車、トヨタ・モビリティ基金、トヨタモビリティパーツ（*2021年3月1日：現在56の企業及び団体）	
地域課題	- 観光エリアにおいて、観光客や地域住民に対応した公共交通サービスを提供できていないこと - 特定の観光施設等への観光客の集中による交通渋滞の発生や駐車場の不足 - 一部の北部エリアや南部エリアにおける、高齢化の進行による公共交通の利用者数の減少や、運転手の不足によって生じる路線バスの減便・廃線の危機	
取組の概要	期間	2021年2月19日～3月12日（約3週間）
	エリア	福岡県糸島市内・福岡市西部（糸島半島東部）
検証内容	MaaSシステム	トヨタグループが提供するMaaSアプリ「my route」を利用
	交通サービス	- 乗合型オンデマンド交通「チョイスコよかまちみらい号」の導入 - 超小型電気自動車「トヨタC+pod」等を活用したカーシェアリング(2021年6月末までは地域住民限定で実施)や、電動レンタサイクルの導入 - 鉄道や路線バス、タクシー、カーシェアリング、レンタカー等の複合経路検索機能の提供 - タクシーの予約・決済機能の提供 - 路線バスのデジタルフリーパスの販売 - 上記デジタルチケットにコロナお守りバック付き傷害保険を付帯して販売
	交通以外のサービス	- 観光情報や商業施設のイベント情報の配信 - 飲食店等の混雑情報の配信
取組イメージ		
MaaSアプリ「my route」を通じて提供しているサービスのイメージ  乗合型オンデマンド交通 -「チョイスコよかまちみらい号」 カーシェアリング -超小型電気自動車「C+pod」 *2021年6月末までは地域住民限定の貸出  		
検証結果		
- 実装した新たなモビリティを含めたルート検索を実現。一例として、「my route」導入により約10分短縮したルート提示が可能となった - KPI達成状況（DL数500 DL/月、デジタルチケット販売枚数200 枚/月） - 実証期間が短期間となったものの、494 DL(@糸島・推定値)とKPIを約3週間で達成 - 但し、コロナ禍、想定より実移動は伴わず、デジタルチケット販売枚数は63枚とKPI未達となった（直近の出力は300枚/月ペースに伸びし推移） - 利用者アンケート結果では「同アプリが外出のきっかけとなった」との回答が75%超、継続的な利用については70%超の方が「同アプリを継続利用する」との回答が得られた		
今後の方向性		
- 今回、コロナ禍で実移動が想定より少なく、行動変容の検証は不十分であったため、住民・観光客の移動に関して検証を継続していく - また、並行して導入した新たなモビリティを周知し、地域に定着させていくことで、住民・観光客の糸島の移動の活性化を図っていく - 各地のmy route導入事業者と連携し、アプリ自体の認知度向上と利用促進に努める		